

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	70		学校名	県立江戸崎高等学校				課程	全日制		学校長名	磯田 績				
教頭名	藤 咲 憲 一		中 村 常 雄						事務(室)長名	平 山 邦 寛						
教職員数	教諭	27	養護教諭	1	常勤講師	8	非常勤講師	4	実習教諭, 実習講師, 実習助手	12	事務職員	3	技術職員等	5	計	60
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		11	10	12	14	16	13			39	37		3		
	農業科		12	0	14	0	19	0			48	0		3		
	園芸科		8	12	17	9	24	11			49	32		3		
機械技術科		27	0	33	0	27	0			87	0		3			

## 2 目指す学校像

実践的な教育を通して、次のような学校を目指す。  
 (1) 1人ひとりの能力を開発し、自立と公共の精神を養う。  
 (2) 勤労を重んじ、協調性に富み、心身共に健康な人間を育てる。  
 (3) 個性を伸ばし、創造的で豊かな心を育てる。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒の学習意欲が不十分であり、家庭学習の時間もほとんどない。	わかる授業をどう進めるか。
進路指導	進路実現に向けての意欲が弱く、ために就職決定率も低い。	進路について早い時期から考えさせるために何をすべきか。
生徒指導	校内外における基本的な生活習慣やマナーの未熟さが目につく。	マナーアップをいかに図るか。
教育相談	疎外感あるいは自分の気持ちを正しく表現できないためか、不満を持ち、物や人に当たる者が多い。	いかにして生徒の気持ちを受容し、自己肯定感を育てるか。

## 4 中期的目標

1	生徒の意欲的な学習を促すために、特色ある教育課程を編成するとともに、教科指導に関する研修を充実する。
2	進路実現のため、模擬面接・個人面談・進路ガイダンスなどを早い時期から行い、きめ細かな指導を行う。
3	充実した学校生活やマナーアップのため、PTAや他の部と連携して、校内外登校指導、各種面接等を実施する。
4	生徒の自己肯定感を育てるために、スクールカウンセラーと協力し、教育相談の充実を図る。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	基礎学力向上を図るための学習指導の充実	英語と数学の習熟度別学習の実施とともに、新規事業「高校進学力向上」等により基礎学力の向上を図る。	
	生徒の個性、能力に応じるための、適切な進路指導の充実	漢字検定合格者20名をめぐす。年2回の「模擬面接」及び「個人面談」等により、進路における早期目標設定を促す。	
	基本的な生活習慣を身につけるための生徒指導の充実	毎月1日と連携した「模擬面接」等により、進路における早期目標設定を促す。	
	生徒の自己実現をはかるための教育相談の充実	他部の連携し「模擬面接」等により、進路における早期目標設定を促す。	
2年次	基礎学力向上を図るための学習指導の充実	英語と数学の習熟度別学習の実施とともに、新規事業「高校進学力向上」等により基礎学力の向上を図る。英語検定、漢字検定合格者40名をめぐす。	
	生徒の個性、能力に応じるための、適切な進路指導の充実	漢字検定合格者40名をめぐす。年2回の「模擬面接」及び「個人面談」等により、進路における早期目標設定を促す。	
	基本的な生活習慣を身につけるための生徒指導の充実	毎月1日と連携した「模擬面接」等により、進路における早期目標設定を促す。	
	生徒の自己実現をはかるための教育相談の充実	他部の連携し「模擬面接」等により、進路における早期目標設定を促す。	
3年次	基礎学力向上を図るための学習指導の充実	英語と数学の習熟度別学習の実施とともに、新規事業「高校進学力向上」等により基礎学力の向上を図る。英語検定、漢字検定合格者50名をめぐす。	
	生徒の個性、能力に応じるための、適切な進路指導の充実	漢字検定合格者50名をめぐす。年2回の「模擬面接」及び「個人面談」等により、進路における早期目標設定を促す。	
	基本的な生活習慣を身につけるための生徒指導の充実	毎月1日と連携した「模擬面接」等により、進路における早期目標設定を促す。	
	生徒の自己実現をはかるための教育相談の充実	他部の連携し「模擬面接」等により、進路における早期目標設定を促す。	

(基礎基本の重要な事柄なので、3年間同じ目標を掲げ、その定着を図る。)